

令和5年度 事業報告

北海道における高齢化率（令和5年1月1日現在）は、32.8%となっており、全国平均を3.7ポイント上回っているなど少子高齢化が急速に進行している。

また、道内シルバー人材センター（以下「センター」という。）会員の平均年齢も新規加入者の減少及び高齢化などから令和5年度では75.0歳となり、前年度と比べ0.4歳延びたところである。

このような中、道内のシルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）については、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業や、平成30年度からスタートした第2次会員100万人達成計画（北海道版）に基づき、会員拡大や就業先の確保等のための事業を展開したが、3年を超えた新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下「コロナ禍」という。）を受け厳しいセンター運営を余儀なくされた。

会員数については、各センターにおいて、高齢者活躍人材確保育成事業の活用等により各種入会促進イベント等に取り組んだものの、前年度を163人下回る15,342人となった。

個別のセンターの状況では、令和4年度より会員が増加したセンターは17センターあった。このようなセンターにおいては、PDCAによる目標管理と地道な取組が一定の成果を上げていることから、引き続き各センターにおいてPDCAによる目標管理等に取り組んでいく必要がある。

シルバー事業関係の請負委任事業における契約金額については、4千193万8千円減の56億1千609万9千円となった。

一方、労働者派遣事業については、36実施事務所がシルバー派遣を行い、契約金額は9億103万1千円となり、前年度に比べ2千45万9千円の増となった。

適正就業の観点や会員のニーズに応じた新たな職域を開拓するうえでも、効果的な労働者派遣事業と高齢会員の状況に合わせた比較的就業が可能な請負委任事業と、それぞれの事業について需要確保を図りながら、会員の選択肢を広げていくことが重要である。

近年、急速な少子高齢化社会が進展する中、人手不足分野や保育及び介護等の現役世代を支える分野での労働力確保に貢献するセンターに対し、企業や地方自治体からも大きな期待が寄せられている。

また、就業を通じて健康を維持し、収入を得るという側面だけではなく、社会参加活動や、社会貢献活動を実施しているセンターが果たすべき役割はますます重要になっている。

令和5年度における各事業の取組状況は次のとおりである。

1 普及啓発事業

(1) 普及啓発促進月間の設定

- ① 10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」には、各センターにおいてシ

ルバーフェスティバル、ボランティア活動等の地域に密着した取組を実施したが、コロナ禍後にあっても、一部、計画の中止や縮小を余儀なくされたセンターがあった。

連合会においては、北海道知事、北海道労働局、北海道市長会、北海道町村会、経済6団体等関係機関への協力要請を行った。

② 「シルバーの日」の設定 [令和5年10月21日(土)]

10月の第3土曜日が「シルバーの日」として設定されており、多くのセンターにおいて普及啓発活動や社会奉仕活動等を実施した。

(2) 会報の発行

センター役職員、会員等を対象に機関紙「道シ連」を年2回発行した。

発行月 10月、1月

発行部数 各1, 800部

配付先 各センター、賛助会員、関係機関・団体、全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」という。)、高齢者事業団

(3) 事業概要の作成

連合会事業の実施状況及び各センターの事業実績を中心に編纂し、関係機関・団体への参考資料として配付した。

発行月 8月

発行部数 400部

配付先 各センター、賛助会員、関係機関・団体、全シ協、高齢者事業団

(4) 高年齢者雇用就業パネル展の開催

北海道経済部と共催、北海道労働局の後援で高年齢者就業事業等のパネル展を実施し、広く高年齢者就業事業等の周知・啓発を行った。

開催日 令和5年9月26日(火)～27日(水)

場所 北海道庁1階ロビー

内容 パネルの展示、リーフレット配布、札幌市センター手芸品・石狩市センター木工製品展示

(5) 普及啓発リーフレットの作成

新規会員募集、発注者向けとして請負用啓発リーフレット及び派遣用啓発用リーフレットを作成、各センターへ送付し、普及啓発及び就業開拓の際に活用した。

作成月 8月

作成数 請負用啓発リーフレット 10, 500部

派遣用啓発リーフレット 6, 200部

配付先 各センター

2 就業開拓等事業

(1) 就業開拓の推進

連合会として、北海道知事、北海道労働局長、自由民主党北海道支部連合会長、公明党北海道本部長、立憲民主党道連会長、国民民主党北海道総支部連合会長に対し、インボイス制度下におけるセンター組織の安定運営に係る支援を求めるとともに、センター会員の就業先確保のための公共事業発注、補助金確保、就業機会拡大等についての訪問要請を行った（国民民主党は文書要請）。

また、経済6団体等に対しても、シルバー事業のPRと併せて受注確保についての文書要請を行った。

なお、令和6年2月29日開催の理事長会議において、会員拡大を前提としての就業機会の拡大について課題の共有化を図った。

3 交流研修事業

(1) 業務担当者研修会の開催（オンライン）

開催日	令和6年2月20日（火）
内容	連合会説明 ・ 契約方法の見直しについて ・ 既存会員の維持等について

(2) 役員研修会の開催

開催日	令和5年9月8日（金）
内容	「シルバー人材センターの発展に向けた役員の役割」 ー令和の時代のシルバー人材センター事業ー
講師	全国シルバー人材センター事業協会 専務理事 土田 浩史 氏

(3) 派遣実務担当者研修会の開催（オンライン）

開催日	令和6年1月18日（木）
内容	「「COLLAB080+」主要な制度変更対応や新機能・機能改善の提供予定について」
講師	NR I 社会情報システム 古川慶子 氏 連合会説明 ・ 派遣事業の留意点について

4 指導相談事業

(1) 個別訪問指導

10ヵ所のセンターを訪問し指導・相談を実施した。

【指導・相談実施状況】

8月 夕張市センター

- 9月 岩見沢市センター、美唄市センター、網走市センター
- 10月 当別町センター、七飯町センター、函館市センター、森町センター
- 11月 稚内市センター、士別市センター

(2) 補助金関係書類作成指導

会計担当者交代等により指導が必要となったセンターに対して、個別に指導援助を行った。

5 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業推進基本計画に基づき、安全就業意識の啓発や事故防止の徹底を図るため、安全就業推進員研修会を開催した。

また、安全適正就業ガイドラインの周知について、各センターを通じて実施した。

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催（オンライン）

引き続きオンライン開催とし、各委員と安全に関する協議を行った。

(2) 安全就業推進員研修会の開催（オンライン）

各センターの安全就業推進委員を対象に、シルバー事業として実施している請負・委任に係る安全就業対策の緊要性の認識を高めるとともに、センターの各種作業現場における様々なヒヤリ・ハット情報の共有、最近の事例学習を通して、作業指示者や管理・監督者が会員に対して適切かつ具体的な作業指示を行うための能力向上を主眼に置いた専門家からの講演を実施した。

開催日	令和5年11月9日（木）
内容	「事例から学ぶ事故・災害防止セミナー」
講師	中央労働災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター 所長 山越 誠治 氏

(3) 安全就業強化月間の設定

全シ協の安全就業強化月間（7月）に併せて設定し、各センターと連携・協力して会員の安全意識の高揚を図った。

6 調査研究事業

労働市場、福祉・介護等関係資料の収集、集約、提供を行った。

月刊シルバー人材センター（全シ協刊行）を北海道、北海道労働局等関係機関、一定規模以上の高齢者事業団に配付した。

7 シルバー人材センター設置促進事業

(1) 未加盟高齢者事業団等関係機関に対し、機関紙「会報 道シ連」ほか関係資料を提供した。

(2) 令和4年度「事業概要」を道内の市町村、未加盟高齢者事業団に送付し、シルバー事業及び連合会についての理解と協力を求めた。

8 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に就職を斡旋する職業紹介事業について、各センターにおいて、マッチングに至る実績はなかった。

9 労働者派遣事業

令和5年度は道内36の実施事務所が事業を実施した。

センターと密接な連携を図り、労働者派遣事業の円滑かつ適正な運営を図った。

就業時間拡大の取組については、令和元年10月1日に北海道知事から指定を受けたところであり、当面、指定された業務拡大範囲の実績向上を図ることとしている。

【令和5年度 36実施事務所実績】

- 就業実人員 1,448人
- 就業延人日 150,423人日
- 派遣件数 1,247件
- 派遣事業収入 901,031千円

10 高齢者活躍人材確保育成事業の実施

北海道労働局から随意契約で受託（予算は前年度比3割増）し、新規会員の増加を目的とした説明会や就業体験、技能講習を実施した。

【取組状況】

- ・事業周知・広報 68回（自治体広報紙、経済団体機関紙、新聞、生活情報誌、ポスティング等を活用した広報の実施）
- ・説明会 30回（参加者366人、入会者132人、就業者84人、新規入会者就業率63.6%）
- ・就業体験 10回（体験者36人、入会者17人、就業者11人、体験参加者就業率30.6%）
- ・技能講習 9回（受講者78人、入会者13人、就業者51人、講習参加者就業65.4%）
- ・新規会員数 162人（事業目標148人）、達成率109.5%
- ・就業率 56.8%（就業者92人（職転会員54人を除く。）÷新規入会者162人）

1.1 女性対象イベントの開催

全シ協からの具体的指示がなく開催に至らなかった。

1.2 シルバー事業のデジタル化の推進

全シ協が厚生労働省の受託事業として実施した「シルバー人材センター等デジタル化整備促進事業」に参画してデジタル化の推進を図った。

1.3 インボイス制度対応とフリーランス新法（仮称）への備え

(1) 会計担当者研修会の開催（オンライン）

開催日 令和5年6月27日（火）

内 容 ・シルバー人材センターにおける適格請求書等保存方式について

講 師 ・衣目公認会計士事務所 公益法人統括マネージャー 氏原 謙一氏

(2) 契約方法の見直し等に係る説明会の開催（オンライン）

開催日 令和6年2月20日（火）

内 容 連合会説明 ・新たな契約方法の見直しについて
・既存会員の維持等について

1.4 諸会議の開催

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所
定 時 総 会	第1回 令和5年6月16日（金）	ホテルポールスター札幌
三 役 会	第1回 令和5年8月28日（月）	連合会事務室
	第2回 令和6年1月30日（火）	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
理 事 会	第1回 令和5年6月1日（木）	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
	第2回 令和5年9月26日（火）	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
	第3回 令和6年3月14日（木）	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
役員研修会	第1回 令和5年9月8日（金）	ホテルポールスター札幌
理事長会議	第1回 令和6年2月29日（木）	ホテルポールスター札幌
事務局長会議	第1回 令和5年7月11日（火）	ホテルポールスター札幌